

9期36年、実績抜群。再び立つ

日本共産党 元京都市会議員

北山ただお



プロフィール ●「安心してらせる山科」を信条に市会議員9期36年(元)。龍谷大卒。東山企業組合勤務。民青同盟東地区常任委員。人権擁護委員、都市計画審議会委員など歴任。市民の足を守る会副代表、京都革新懇常任世話人。

物価高、新型コロナに無策、統一協会とのゆ着、軍拡と改憲の道にすすむ岸田政権：
日本共産党の市会2議席で、いのちと暮らし最優先の京都市政へ

このたび健康上の理由で勇退する鈴木とよこ市会議員から引き継いで、初心にかえって、再び立つことを決意しました。
「困ったときは日本共産党」——住民の苦難軽減を原点に9期36年、京都市会議員として、暮らしと営業を守って奮闘してきました。その後も、敬老乗車証を改悪させない市民運動をはじめ、暮らしを守る運動に取り組んできました。
来春の統一地方選挙は、岸田政権に京都から審判を下す選挙であると同時に、北陸新幹線延伸などムダと環境破壊の大型開発、まちこわしの高さ規制緩和を許さず、いのちと暮らし最優先の京都市政に変えることが問われています。
山科区の日本共産党の市会2議席は、住民のみなさんのいのち、暮らしを守るかけがえない議席です。何としてもバトンを引き継がせてください。再び、みなさまのご支援を心よりお願いいたします。



予定候補が勢ぞろいしたJCP京都フェス(10月22日、みやこめっせ)にて(左から)山本陽子市会議員、あかたちかこ府会予定候補、北山ただお、鈴木とよこ市会議員



参議院議員・党副委員長 倉林明子

「再び立つ」その決意にふるえました。市会議員としての大先輩で、地元住民の苦難にことん寄り添い、行政を知り尽くした北山さんの論戦に多くを学びました。いったん議員を勇退された後も、市民の足を守る活動や年金者組合の活動を続けてこられた北山ただおさん、市会は山本陽子さんと北山ただおさんに、みなさまのご支援をお願いします。私も力を合わせて頑張ります。



市会議員 鈴木とよこ

このたび健康上の理由により次期立候補を断念しました。無念ですが、市会議員として残る任期中に全力を尽くします。
北山ただおさんに引き継ぎますよう、みなさまのご支援をよろしくお願いします。

府会

あなたの話、聞きます！
“ひとを社会の中心に”

日本共産党 日本共産党 山科なんでも相談室長

あかたちかこ

プロフィール ●大阪市生まれ、42歳。京都精華大学卒・立命館大学大学院修了。現在、大学非常勤講師、児童自立支援施設で対人援助や性教育を担当。“思春期アドバイザー”として全国・府内各地で講演活動や相談活動をしている。



Q 府議会議員ってなにをする人？

あかた「フギってなにをする人なん？」
本庄「府や市って、住民がもつと幸せになるのを手伝うためにあるねん。そのために、府民の意見や要望を聴いて、議会で議論するねん」
あかた「ふむふむ」
本庄「どんな仕事をしたらええか、お金の使い方(予算)や決まり(条例)を決めて、ほんまにちゃんとされてるかをチェックするねんで」
あかた「めっちゃ大事やな」
本庄「そやろ！だから、責任重大や。あとは頼むで」
あかた「わかった！本庄さんのあとは、あたしががんばるわ！」



Q あかたは、なにしてきた人？

エイズ予防啓発と感染者ケア、そして包括的性教育(身体や病気の話だけをするのではなく、人間関係や恋愛やコミュニケーションも含めて考える、幅広い人間教育)を通して、ひとと社会のしくみについて考えてきました。できるのは、講演から相談業務まで、現場は中学・高校から、児童自立支援施設や特別支援学校、保健センターまで、どこへでも行きます。大学では対人援助職者を育てることが専門。話を聞くこと、伝えること、そして「安全な場」をつくるのが得意です。

本庄前府議とざっくばらん対談

Q 議員としてなにしてきたん？

あかた「この夏は猛暑と大雨で河川が氾濫したり、土砂災害が起きたりしたけど、山科もこれまで大変だったと聞いたけど？」
本庄「そうなんよ。9年前に四ノ宮川、安祥寺川とかが氾濫して、全壊や浸水被害が300件、御陵駅」が水につかって運休や。だから、議会質問で「雨が降るたびに不安や」という住民の声を届けて、知事に管理責任を認めさせたんや」
あかた「え、すごい。そうか、それで山科川とかで改修工事が始まったんやなあ」



Q なんで共産党なん？

エイズ予防のことをやるようになって、選挙の時に全部の政党に「エイズを政治の問題としてどう扱うのか」を聞いてみたら、まともに答えない政党がある中で、毎回、熱く的確な回答を返してくる政党があつて、それが共産党でした。調べてみるとエイズ以外にもまともで、この党は、本気でひとと社会のことを考えてる、と思えました。あたしらの声を聞いて、ちゃんと考える人を政治家にと思っ、選挙で共産党ばかり応援していたある日、信頼している人から「うちから選挙出よう」と言われ、やってみようと思っ、候補者になることを決めました。

Q 府議になったら、なにをするん？

2年越えのコロナ禍でしみじみ思ったのは、「もつと政治は人間(あなたとわたし)を中心にしなれば」ということでした。「社会システムを守るために人間がいるのではなく、人間を守るために社会システムは存在する」——特別な人だけじゃなく、誰でもが、しんどくなった時に「大丈夫です」って嘘を言わないで、普通に助けってもらえる政治をめざします。

おすすめ

- 岡野八代 (同志社大学 大学院教授)
- 飯田和敏 (立命館大学教授)
- ブブ・ド・ラ・マドレーヌ (アーティスト)
- 本庄孝夫 (前府会議員)

山科民報

2022年11月 発行：日本共産党東地区委員会 〒607-8344 京都市山科区西野大手先町8-8 日本共産党東地区委員会は、上記の見解を発表しました。

切実な願い集め、改革提案で 市政を動かす

市政アンケート返信 (2021年2月~5月) 2400人超、生活相談7000件超 (2019年4月~)、事業者訪問120件超 (2022年1月~4月)、切実な声をもとに、京都市に対して25次にわたって申し入れを行ってきました。

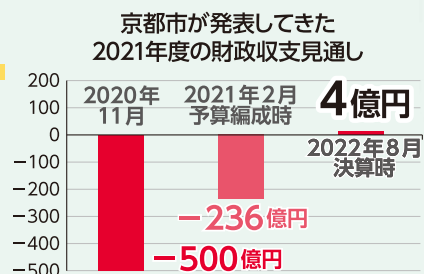


市民みなさんと共に、切り開きました

- 子育て世帯への臨時特別給付金 (2021年) 当初案は「分割・クーポンでの支給」だったが、組み換え案も提案し「10万円一括現金給付」が実現
- 固定費補助、10/10補助などの中小業者支援
- 「奨学金・テキスト代・家賃支援」など、学生への経済的支援を実施する大学に補助金
- 高齢者施設での定期的なPCR検査の実施

え!? 実は、黒字!【京都市財政】(2021年度)

市長は「毎年500億円の財源不足 このままでは財政破たん」(2020年11月)と財政危機を煽ってきました。しかし、今年8月、「昨年度2021年度決算は黒字で危機は回避」と発表。「『財政破たん』と市民を脅す誇大宣伝」という議員団の指摘通りとなりました。



市民への負担増は撤回しかありません

市長は、増収分の内187億円を、予定にはなかった公債償還基金の積立に充てています。

187億円あれば、やめられます

- 敬老乗車証一部負担金の値上げ …… 約4億8千万円
- 民間保育園への補助金カット …… 約13億円
- 学童保育料の値上げ …… 約1億6千万円
- 国民健康保険料値上げ …… 約14億円

改善計画も止められます!

- 市バス運賃8%、地下鉄運賃7%の値上げ! 路線・ダイヤの縮小も
- 保育料の値上げ (2022年度は見送り)
- 消防職員3年間で150人削減 (2022年度は49人)

他党は、子どもからお年寄りまでの負担増に賛成

- ▶民間保育園補助金カット削減を「改善」と評価 (維新)
- ▶敬老乗車証制度の大改悪

共産	自民	公明	民フ
反対	賛成	賛成	賛成

京都党・維新の会は、負担金一律2万9440円を提案 (生活保護・非課税世帯も含む) **これまでの約10倍!**

市民の願い実現、本気の政党は!?

請願書・意見書に対する各党の態度	共産	自民	公明	京都	維新	民フ	立憲
請願「国民健康保険料の引き下げ」(20年2月市会)	○	×	×	×	×	×	×
請願「小学校のような全員制の中学校給食の実施」(21年2月市会、11月市会)	○	×	×	×	×	×	×
請願「消費税5パーセント以下への引下げの要請」(22年6月市会)	○	×	×	×	×	×	×

○: 賛成 ×: 反対

コロナ禍、物価高騰から、命、暮らし、営業守ろう!

新型コロナ対策でも奮闘

寄り添い、届け、実現する 確かな議席

2020年以來、十数回の街頭調査活動をはじめ、医療関係者などさまざまな団体・個人を訪問し、要望を伺ってきました。そうした声を力にして、15回の申し入れを行い、入院待機ステーションに高齢者も入院できるように求めるなど、新型コロナ対策を一つずつ前進させてきました。



新型コロナ発生直後から医療・介護現場で聞き取り

中小企業の願い受け、コロナ支援制度を拡充

日本共産党の国会議員や京都府会・市会議員団には、どうすれば中小企業を救うことができるのかと研究を重ねていただき、600以上の組合員に持続化給付金が支給されました。また、いわゆる「不備ループ」の解決にも力を貸していただきました。 全京都企業組合連合会会長 大嶋喜好さん

京都初 学生支援の扉をひらく

コロナ禍で困窮する学生への「食材提供プロジェクト」が取り組まれ、府議団も相談員として参加。学費無償化をめざす学生団体のみなさんとも連帯し、食材支援への補助など京都府としては初の大学・学生支援策を実現させました。



学生団体のみなさんの申し入れと意見交換

府議会に寄せられた請願 1853件 (2018~2022) すべて党議員団が紹介

請願・意見書に対する各党の態度(一部)	共産	自民	公明	府民*	維新
選択的夫婦別姓を求める請願(22年6月議会)	○	×	×	×	×
消費税減税・インボイス中止を求める意見書(22年2月議会)	○	×	×	×	×
高齢者医療費2倍化中止を求める意見書(21年6月議会)	○	×	×	×	×
給食や教材費の無償化を求める請願(19年12月議会)	○	×	×	×	×

○: 賛成 ×: 反対 *民主系



[知事与党(自民・公明・府民・維新)が推進]

北陸新幹線延伸(2.1兆円以上)
北山エリア開発(350億円)よりも、

府立大内に1万人アリーナ(175億円) 植物園を営利の場に

府民の税金は 医療・福祉・教育に使おう

コロナ禍で格差拡大
男女の賃金格差
軽い大企業の税負担・重い消費税
アンフェアな世の中を変えよう
市民と府議会 第二党 日本共産党の連帯の力で

府議団 LINE公式 アカウント



府政情報など 発信中!!